

腎泌尿器外科では 腹腔鏡下膀胱脱手術を始めました！

女性の膀胱、膣、子宮、直腸といった骨盤臓器の支持組織が、膣の中や外に出てきてしまう状態を「骨盤臓器脱」と言い、膀胱の場合を「膀胱脱」と言います。

経膣分娩を経験した女性の約3割程度に骨盤臓器脱が見られると言われ、不快感、痛み、出血、頻尿や排尿困難、水腎症や尿路感染症などの症状が起こり、著しく生活の質が損なわれます。このように一般的な疾患にも関わらず、羞恥心から実際に医療機関を受診する患者さんは氷山の一角とされています。

これまで、骨盤臓器脱（膀胱脱）に対する手術は、経膣的に生体に適合したメッシュシートを骨盤底にハンモック状に敷き、弱った骨盤底の支持力を回復させる TVM（Tension-free Vaginal Mesh）手術が中心に行われてきました。

当院でも 2010 年から 70 例程度同手術を施行し、治癒率 98% という成功率を収めております。TVM 手術は低侵襲で安全な術式ですが、メッシュ特有の膣びらん、メッシュ露出や痛みといった合併症があり、膣と直腸との剥離を有する後方 TVM には直腸損傷の合併症もあります。

このような状況下で、骨盤臓器脱（膀胱脱）に対するより良い術式が求められてきましたが、最近注目されているのが **腹腔鏡下膀胱脱手術** です。**腹腔鏡下膀胱脱手術** は、腹腔鏡下にメッシュを使用して仙骨と膣を固定する術式であり、経膣操作ではないため、TVM 手術と比較して、膣びらん、メッシュ露出や痛みが少ないことが特徴です。カメラを使用して拡大視野で行うため、狭い視野の TVM と比較して腸管損傷のリスクも少ないです。本邦では、2014 年に保険収載され、当院でも、2016 年 3 月から同手術を開始致しました。

腹腔鏡下膀胱脱手術 の手術時間は 3～4 時間で、成功率は術後観察期間 1 年間で 90% 程度と報告されております。ただし、患者さんの状況により TVM 手術がよいか、**腹腔鏡下膀胱脱手術** がよいかはケースバイケースで検討する必要があります。

当院には骨盤臓器脱（膀胱脱）を担当する専門の医師が存在します。どうぞ、恥ずかしがらずに当院腎泌尿器外科外来（毎週 月・火・金）を受診しましょう。

琉球大学医学部腎泌尿器外科 宮里実、芦刈明日香、斎藤誠一

